

法人（事業所）理念		社会福祉法人の公的使命と、それに伴う租税免除措置の理由を把握し、地域にある社会福祉ニーズに積極的に応えて行くこと						
支援方針		【行動の読み解きとチャレンジ意欲を引き出す療育】 支援の基本は【子供たちを深く理解すること】だと思っています。子供たちの困りごとや可能性は一人ひとり違うため、一人ひとりの育ちを理解し、つまずきや行動の背景に何があるのかを考えて行動評価をしていきます。そのうえで根拠のある療育を提供し、楽しい、自分でやりたいなどの意欲を引き出していきます。その積み重ねが主体性、挑戦、意欲、学習などの力を発達させていくと考え支援していきます。						
営業時間		児童発達支援	8 時	15 分から	16 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキル（食事動作・排泄・衣服の着脱・歯磨き・手洗い）の習得を支援していきます。手順書などを使用し、視覚的にわかりやすい支援を行っていきます。また、時間や空間の構造化によるわかりやすい環境設定を行い支援していきます。 （例）トイレトレーニング、手洗いや歯磨きの手順提示など						
	運動・感覚	感覚統合療法のエッセンスを交えながら様々な運動や感覚遊びを取り入れ、姿勢・動作・運動機能の発達、感覚過敏さや鈍麻の軽減を促していきます。 （例）トランポリン、回転いす、ブランコ、サーキット、ボルダリング、スライム、片栗粉粘土など						
	認知・行動	言葉の獲得する前の段階から知覚や感覚を用いて言葉、事物の操作、記憶、対人認知などの概念の基礎の発達を促していきます。 子供の認知特性（視覚優位、聴覚優位、感覚過敏、鈍麻など）を評価し、特性に合った支援を行いながら適切な行動を促していけるように支援していきます。 （例）物のマッチング、見立て遊び、ごっこ遊び、模倣行動の支援、個別療育など						
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による評価の下、個別または集団での訓練を実施していきます。言葉を話す前からの非言語コミュニケーションなど言葉の基礎となる育ちを促していきます。絵カードの活用やPECSなどを利用し、その子に合ったコミュニケーション方法を指導していきます。また個別療育により言語機能の発達、対人関係の発達などを促していきます。 （例）PECS、絵カード、文字・数字の学習、						
	人間関係 社会性	集団でのルール等を理解し、周囲と適切に関われるように支援していきます。自己の理解を促し、気持ちや行動のコントロールをしていく力を身に着ける支援をしてきます。 一人遊びから小集団・集団へ参加できるように支援者を軸として社会性の発達を支援していきます。 例）役割を持ったごっこ遊び、ルールのある集団遊び など						
家族支援		定期的にこどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助を実施していきます。活動の見学や動画・写真で子供たちの様子を共有し、発達状況や特性の理解に向けた相談や援助をしていきます。また、親子懇親会を実施し保護者様同士の交流や悩み相談、情報共有などを支援していきます。					移行支援	保育園・学校・その他連携機関との情報共有を積極的に行っています。一貫した支援を行えるよう特性の理解や支援方法の伝達を行い、他機関と連携し支援していきます。法人内で児童発達支援、放課後等デイサービスを運営しておりライフステージに合わせた訓練・準備をしています。
地域支援・地域連携		保育園・学校・その他連携機関との情報共有を積極的に行っています。他療育機関、地域のリハビリテーション病院と情報共有を支援に役立てています。 （例）保育園、学校、他事業所、関係機関との担当者会議、地域の祭りへの参加、法人内特別養護老人ホームとの交流、法人内療育事業所との交流					職員の質の向上	当法人では療育の質向上を目指して勉強会の実施やケーススタディ、社外の研修への参加を積極的に行っています。ケーススタディでは行動評価、支援内容や目標を細かく考え話し合うことをしています。その上で目標を設定し職員間で目標に向かって支援していけるように情報共有をしています。また、社外研修や勉強会への参加も実施しています。
主な行事等		6月 避難訓練（事業所内） 7月 プール活動 8月 夏祭り 10月 ハロウィン 12月 クリスマス会 1月 避難訓練（総合訓練） 2月 節分祭り 3月 卒業遠足（年長対象）						

法人（事業所）理念		社会福祉法人の公的使命と、それに伴う租税免除措置の理由を把握し、地域にある社会福祉ニーズに積極的に応えて行くこと			
支援方針		【行動の読み解きとチャレンジ意欲を引き出す療育】 支援の基本は【子供たちを深く理解すること】だと思っています。子供たちの困りごとや可能性は一人ひとり違うため、一人ひとりの育ちを理解し、つまずきや行動の背景に何があるのかを考えて行動評価をしていきます。そのうえで根拠のある療育を提供し、楽しい、自分でやりたいなどの意欲を引き出していきます。その積み重ねが主体性、挑戦、意欲、学習などの力を発達させていくと考え支援していきます。			
営業時間		児童発達支援	8 時 15分～ 16 時 15分	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキル（食事動作・排泄・衣服の着脱・歯磨き・手洗い）の習得を支援していきます。手順書などを使用し、視覚的にわかりやすい支援を行っていきます。 時間や空間の構造化によるわかりやすい環境設定を行い支援していきます。 （例）トイレトレーニング、手洗いや歯磨きの手順提示など			
	運動・感覚	感覚統合療法のエッセンスを交えながら様々な運動や感覚遊びを取り入れ、姿勢・動作・運動機能の発達、感覚過敏さや鈍麻の軽減を促していきます。 （例）トランポリン、回転いす、ブランコ、サーキット、ボルダリング、スライム、片栗粉粘土など			
	認知・行動	言葉の獲得する前の段階から知覚や感覚を用いて言葉、事物の操作、記憶、対人認知などの概念の基礎の発達を促していきます。 子供の認知特性（視覚優位、聴覚優位、感覚過敏、鈍麻など）を評価し、特性に合った支援を行いながら適切な行動を促していけるように支援していきます。 （例）物のマッチング、見立て遊び、ごっこ遊び、模倣行動の支援、個別療育など			
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による評価の下、個別または集団での訓練を実施していきます。言葉を話す前からの非言語コミュニケーションなど言葉の基礎となる育ちを促していきます。絵カードの活用やPECSなどを利用し、その子に合ったコミュニケーション方法を指導していきます。また個別療育により言語機能の発達、対人関係の発達などを促していきます。 （例）PECS、絵カード、文字・数字の学習、			
	人間関係 社会性	集団でのルール等を理解し、周囲と適切に関われるように支援していきます。自己の理解を促し、気持ちや行動のコントロールをしていく力を身に着ける支援をしてきます。 一人遊びから小集団・集団へ参加できるように支援者を軸として社会性の発達を支援していきます。 例）役割を持ったごっこ遊び、ルールのある集団遊び など			
家族支援		定期的にこどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助を実施していきます。活動の見学や動画・写真で子供たちの様子を共有し、発達状況や特性の理解に向けた相談や援助をしていきます。また、親子懇親会を実施し保護者様同士の交流や悩み相談、情報共有などを支援していきます。	移行支援	保育園・学校・その他連携機関との情報共有を積極的に行っています。一貫した支援を行えるよう特性の理解や支援方法の伝達を行い、他機関と連携し支援していきます。法人内で児童発達支援、放課後等デイサービスを運営しておりライフステージに合わせた訓練・準備をしています。	
地域支援・地域連携		保育園・学校・その他連携機関との情報共有を積極的に行っています。他療育機関、地域のリハビリテーション病院と情報共有を支援に役立てています。 （例）保育園、学校、他事業所、関係機関との担当者会議、地域の祭りへの参加、法人内特別養護老人ホームとの交流、法人内療育事業所との交流	職員の質の向上	当法人では療育の質向上を目指して勉強会の実施やケーススタディ、社外の研修への参加を積極的に行っています。ケーススタディでは行動評価、支援内容や目標を細かく考え話し合うことをしています。その上で目標を設定し職員間で目標に向かって支援していけるように情報共有をしています。また、社外研修や勉強会への参加も実施しています。	
主な行事等		8月 夏祭り 10月 ハロウィン 12月 クリスマス会 1月 避難訓練（総合訓練） 2月 節分祭り 3月 卒業遠足（年長対象）			

